

【グローバル・ディスカバリー・プログラム アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

グローバル・ディスカバリー・プログラムでは、世界各地から集まった留学生・帰国生、日本国内の高校出身者など、多様な背景と経験を持つ学生たちの協働と学び合いを基礎としつつ、インターンシップやフィールドワークなど実践的な学びを重視します。学部や学科の枠にとらわれず、将来の目標に適した科目履修を通じて専門知識を修得し、取り組むべき課題や進むべき道筋を自ら発見し、文化や専門分野の異なる他者と協力しながら、課題解決に向けて的確に行動できる能力を涵養します。

学生各自が組み立てた履修プログラムを通じて、専門的な知識や技能の修得を促し、卒業研究では、教員の指導の下に自ら設定した課題に取り組むことで、収集した情報を多角的・創造的に分析する力と、社会に向けて的確な情報を効果的に発信する力を培います。これらの教育を通じて、地域レベルから地球レベルまでに至る社会のイノベーションのために自ら行動でき、グローバル社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。

求める人材

1. 多様な文化や社会に目を向け、世界を舞台に活躍する意志を持つ人
2. 幅広い分野での学修や言語の修得など、主体的な学びに積極的な人
3. 他者と十分なコミュニケーションを図ることができ、互いに協力しながら課題に取り組む姿勢を持つ人

入学後の学修のために、以下の3つの力を身につけていることが望まれます。

- ・多文化を背景とする学生同士が協働して課題解決に取り組むための英語力
- ・自分の意見をまとめ、他者に明確に伝えるために必要なコミュニケーション力
- ・入学後、選択する分野での学修に必要とされる科目の基礎学力

入学者選抜の基本方針

総合型選抜:

- ・ディスカバリー入試

文系問題あるいは理系問題からどちらかを選択します。

【文系問題】

書類審査(自己推薦書, 調査書, 英語資格・検定試験成績等), 記述問題(英語), 口述試験(文章読解), プレゼンテーション, 個人面接(口述試験を含む。)により, 本プログラムで必要な英語能力や基礎学力に加え, 理解力や論理的思考力・表現力, 学習意欲や主体性などを総合的に判断します。学力の3要素との対応表は次のとおりです。

【理系問題】

書類審査(自己推薦書, 調査書, 英語資格・検定試験成績等), 記述問題(英語), 記述問題(理系), プレゼンテーション, 個人面接(口述試験を含む。)により, 本プログラムで必要な英語能力や基礎学力に加え, 理解力や論理的思考力・表現力, 学習意欲や主体性などを総合的に判断します。学力の3要素との対応表は次のとおりです。

・国際入試

書類審査(成績評価証明書,自己推薦書,評価書,語学能力試験のスコア等)及び個人面接により,本プログラムで必要な英語能力や基礎学力に加え,理解力や論理的思考力・表現力,学習意欲や主体性などを総合的に判断します。また,理系希望者については,日本語を積極的に修得する意欲と計画性も重視します。学力の3要素との対応表は次のとおりです。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
ディスカバリー入試	○	英語資格・検定試験成績 記述問題(英語) 記述問題(理系)	◎	自己推薦書 個人面接(口述試験を含む) 口述試験(文章読解) ※文系 プレゼンテーション	○	調査書 自己推薦書 個人面接
国際入試	○	成績評価証明書 評価書・推薦書 語学能力試験のスコア等	◎	自己推薦書 個人面接(口述試験を含む)	○	自己推薦書 個人面接

(注) ◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は,「主とする資料」であり, それ以外の要素でも活用する場合がある。